

103 番の歌 牧者という贈り物

「人々 という贈り物」に感謝を表す

「その方は高い所に昇った時、人々 という贈り物を与えました」。エフェソス 4:8

ポイント：援助奉仕者や長老や巡回監督として奉仕している兄弟たちが、どのように私たちの助けになっているか、またそうした兄弟たちにどのように感謝を表せるかを考えます。

1. イエスは私たちのためにどんなことをしてくれていますか。

惜しみなく与える点でイエスより優れた人はいません。イエスは地球に来た時、人を助けるために喜んで奇跡を行いました。（ルカ 9:12-17¹⁶ イエスは5つのパンと2匹の魚を取り、天を見上げて祈ってから、それらを割って弟子たちに渡し始めた。群衆に配らせるためである。¹⁷ こうして皆が食べて満足した。余りを拾うと、かけらは籠12個分になった）そして何よりも、私たちのために自分の命を贈り物として与えてくれました。（ヨハ 15:13 友のために自分の命をなげうつこと、これより大きな愛はありません）イエスは復活してからもずっと私たちのことを助けてくれています。私たちを教え、慰めるために聖なる力を与えてくださるよう、イエスは約束通りエホバにお願いしてくれました。（ヨハ 14:16, 17 私は天の父にお願いします。父は別の援助者を与えて、あなたたちと共に永久にいるようにしてくださいます。¹⁷ それは真理を伝える聖なる力です。世の人々はそれを受けることができません。それを見ることも知ることもないからです。あなたたちはそれを知っています。それはあなたたちのもとにとどまり、あなたたちの内にあるからです、脚注；16:13 しかし、その者、すなわち真理を伝える聖なる力が来ると、真理を十分に理解できるように導いてくれます。その者は自分の考えで話すのではなく、聞いたことを話し、将来のことを告げます）また、集会によって、世界中で人々を教えて弟子を育てるために必要な教えを与えてくれています。（マタ 28:18-20 イエスは近づいて、こう話した。「私には天と地における全ての権威が与えられています。¹⁹ それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、²⁰ 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです」）

2. エフェソス 4章 7, 8節に出てくる「人々 という贈り物」には誰が含まれますか。

2 イエスは、ほかにもどんなことをしてくれているでしょうか。パウロによると、イエスは天に行った後、「人々 という贈り物」を与えてくれました。（エフェソス 4:7, 8 私たちは一人一人が惜しみない親切を受け、キリストから無償の贈り物(*能力)を与えられました。⁸ こう述べられています。「その方は高い所に昇った時、捕虜を連れ去り、人々 という贈り物を与えました」を読む。）パウロが説明しているように、それは会衆をいろいろな面でサポートするためです。（エフェ 1:22, 23 神はまた、キリストを全てのものの上に立たせ、会衆(*)に関する全ての事柄を見守

る頭としました。 23 会衆はキリストの体であり、全てのものを完全に満たすキリストが満ちています: 4:11-13 そしてその方は、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音伝道者(*良い知らせを伝える人)、ある人を牧者また教える人として与えました。 12 その人たちは聖なる人たちを正し(*訓練し)、奉仕し、キリストの体を力づけ(*建て)ます。 13 そのおかげで私たちは皆、信仰の一致と、神の子についての正確な知識の一致に達し、十分に成長した人(*大人)となり、キリストの背丈(*域)に達するようになります) 現代、「人々という贈り物」には、援助奉仕者や会衆の長老や巡回監督が含まれています。 *統治体のメンバー、統治体の援助者、支部委員会のメンバー、ほかの奉仕の割り当てを受けている長老も「人々という贈り物」です。もちろん、こうした兄弟たちも完璧ではないので間違いをします。 (ヤコ 3:2 私たちは皆、何度も過ちを犯し(d*つまずき)ます。言葉で過ちを犯さない(d*つまずかない)人がいれば、それは完全な人で、体全体を制御できます) でも、主イエス・キリストはこうした兄弟たちを使って私たちを助けてくれています。それで、その人たちはイエスからの贈り物といえます。

3. 私たち一人一人は、「人々という贈り物」として働いている兄弟たちをどのようにサポートできますか。

3 イエスは、会衆を力づけるために「人々という贈り物」を与えました。 (エフエ 4:12 その人たちは聖なる人たちを正し(*訓練し)、奉仕し、キリストの体を力づけ(*建て)ます) 私たちはみんな、こうした兄弟たちが大切な責任を果たせるようにサポートすることができます。例えで考えてみましょう。王国会館を建てるとき、実際に建設の仕事をする人もいれば、食事を作ったり送迎をしたりして、いろいろな形でサポートする人たちもいます。同じように、援助奉仕者や会衆の長老や巡回監督として奉仕している兄弟たちを、言葉や行動によって私たちみんながサポートできます。では、こうした兄弟たちの働きがどのように私たちのためになっているかを考えましょう。また、こうした兄弟たちや「人々という贈り物」を与えてくれたイエスにどのように感謝を表せるかを考えます。

「役立つ仕事を行う」援助奉仕者

4. 1世紀の援助奉仕者が行った、「役立つ仕事」にはどんなものがありましたか。

4 1世紀、援助奉仕者として任命された兄弟たちがいました。 (テモ一 3:8 援助奉仕者(*)も、眞面目で、二枚舌を使わず(*人をだますようなことを言わず)、多量の酒を飲まず、貪欲に不当な利益を得ようとせず、) その人たちは、パウロが書いているように「役立つ仕事を行」っていたと思われます。 (コリ一 12:28 そして神は会衆内の人たちにそれぞれの役割を与えました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教える人、次いで奇跡を行う人、次いで癒やす能力を持つ人、人々を世話する(*役立つ仕事を行う)人、指揮する能力がある人、さまざまな言語を話す人です、脚注) 長老たちが教え、牧羊することに専念できるように、援助奉仕者たちがそのほかの必要なことを行っていたようです。それには聖書の写本作業を手伝ったり、写本に必要な物の購入をしたりすることも含まれていたかもしれません。

5. 援助奉仕者たちは、会衆のためにどんな仕事をしていますか。

5 今でも、会衆で援助奉仕者として働いている兄弟たちはみんなのためにいろいろな仕事をしてくれています。 (ペテー 4:10 神の惜しみない親切はさまざまな形で表されます。一人一人に能力(*贈り物)が与えられているのですから、神から親切を示された立派な管理人として、その能力を生かして仕え合ってください) そうした兄弟たちは、会衆の会計や奉仕区域に関する仕事をしたり、文書を依頼したりします。また、オーディオ機器やビデオ機器を操作したり、案内係をしたり、王国会館のメンテナンスを手伝ったりもしています。こうした仕事はどれも、みんなが集会を楽しみ、伝道活動をきちんと行う上で欠かせません。 (ヨリ一 14:40 全てのことを適正に、取り決めに沿って行いましょう) さらに、援助奉仕者の中には、生活と奉仕の集会で話をする人や公開講演をする人もいます。また、グループ監督の補佐として働いたり、長老と一緒に牧羊訪問に行ったりすることもあります。

6. 援助奉仕者たちのどんな働きに感謝できますか。

6 援助奉仕者はどのように会衆の助けになっているでしょうか。ボリビアのベバリー姉妹はこう言っています。*「集会を十分に楽しむことができる」のは、援助奉仕者の兄弟たちのおかげです。集会中に歌ったりコメントをしたり話を聞いたりビデオや画像から学んだりできるのは、援助奉仕者たちが働いてくれているからです。兄弟たちは集会の安全を見守り、ビデオ会議システムでつながっている人たちを気に掛けています。集会後には率先して清掃を行い、会計をまとめるのを手伝ったり、必要な文書を手に入れられるように手配してくれたりします。本当にありがとうございます」。コロンビアにいるレスリー姉妹の夫は長老として奉仕しています。姉妹はこう言っています。「夫は援助奉仕者たちの助けを本当に必要としています。兄弟たちのサポートがなければ、夫はもっと忙しくなってしまうと思います。援助奉仕者の兄弟たちが一生懸命進んで助けてくれることに、私もとても感謝しています」。あなたもきっと同じように感じていることでしょう。 (テモー 3:13 立派に奉仕する人は良い評価を得、キリスト・イエスへの信仰について少しも気後れせずに語ることができます)

7. 援助奉仕者たちにどのように感謝を表せますか。 (写真も参照。)

7 私たちは援助奉仕者の働きをありがたいと感じているかもしれません。でも、聖書は「感謝を表しましょう」と勧めています。 (コロ 3:15 また、キリストによる平和が心に満ちる(*心を制御する)ようにしましょう。皆さんは1つの体となって平和を得るために招かれたからです。感謝を表しましょう) フィンランドで長老として奉仕しているクシシュトフ兄弟は、援助奉仕者たちにどのように感謝を伝えているかについてこう言っています。「カードやメールを送るようになります。聖句を書いて、自分にとって兄弟の働きがどのように力になっているか、またどんなところに感謝しているかを伝えるようにしています」。ニューカレドニアに住むパスカル兄弟とジヤイエル姉妹は、援助奉仕者のためによく祈るようにしています。兄弟はこう言っています。「最近、私たちは祈りの中で、会衆の援助奉仕者の兄弟たちへの感謝を伝えたり、兄弟たちを助けてくれるようにお願いしたりするようにしています」。エホバはそうした祈りを必ず聞いてくださいます。それは会衆のみんなにとってためになります。 (ヨリニ 1:11 皆さんも、私たちのため

に祈願をすることによって、私たちを助けてください。多くの人の祈りのおかげで私たちは神から恵みを受けることができ、私たちのことで多くの人が感謝の祈りを捧げるでしょう)

「皆さんの中で一生懸命に働く[く]」長老たち

8. 1世紀の長老たちが「一生懸命に働く」いているとパウロが言ったのはどうしてですか。 (テサロニケ第一 5:12, 13)

8 1世紀において、長老たちは会衆のために一生懸命働きました。 (テサロニケ第一 5:12, 13) 兄弟たち、次のことをお願いします。皆さんの中で一生懸命に働き、主に仕えつつ皆さんを監督し助言を与えていた人たちに、敬意を払ってください。 13 そして、よく働いているその人たちに愛と深い思いやりを示してください。誰とでも平和な関係でいるようにしましょうを読む。 テモニ 5:17 立派に監督している長老たち、とりわけ一生懸命に話したり教えたりしている人たちは、深い(d*2倍の)敬意を受けるに値します) 集会を開き、長老団としていろいろな決定を下し、会衆を「監督し」ました。また、兄弟姉妹に「助言を与え」ました。会衆を守るために具体的なアドバイスを愛を込めて伝えました。 (テサニ 2:11, 12) よくご存じのように、私たちは皆さん一人一人を励まし、慰め、教えました。父親が子供にするようにです。 12 神に仕える人にふさわしく歩んでいってほしいからです。神は、ご自分の王国で皆さんが栄光を受けるよう、招いてくださっています。 テモニ 4:2 神の言葉を広めなさい。順調な時にも困難な時にも熱心に(*緊急性を意識して)伝道しなさい。いつも辛抱強く、教える技術を駆使して、戒め、忠告し、励まし(*説き勧め)なさい) もちろん、家族を養うために一生懸命働き、家族みんながエホバとの絆を守れるようにも努力しました。 (テモニ 3:2) ですから、監督は、とがめられるところがなく、1人の妻の夫で、節度をわきまえ、健全な考え方(*良い判断)をし、秩序正しく行動し、人をよくもてなし、教える資格がなければなりません、4 家庭を立派に治め(*管理し)、子供をよくしつけて従わせているべきです。 テト 1:6-9 任命される人は、非難されるところがなく、1人の妻の夫でなければなりません。その人の子供も信仰を持っているべきで、堕落(*放蕩)しているとか反抗的だと非難されていてはなりません。 7 監督は、神の家の管理人ですから、非難されるところがあつてはならず、意地を張らず、すぐに怒らず、酩酊せず、暴力を振るわず、貪欲に不当な利益を得ようとすべきではありません。 8 人をよくもてなし、善いことを愛し、健全な考え方(*良い判断)をし、正しいことを行い、神に尽くし(*を搖るぎなく支持し/から離れず)、自制心があり、9 神の信頼できる(*確かな)言葉にしっかりと従った教え方をしなければ(*従って教える技術を用いなければ)なりません。 そうすれば、健全な(*有益な)教えによって励ます(*説き勧める)ことも、逆らう人を戒めることもできるでしょう)

9. 現代、長老たちが果たしている責任にはどんなものがありますか。

9 今でも長老たちは忙しく働いています。長老たちは伝道を熱心に行い、奉仕の区域を組織し、上手に伝道したり教えたりできるように訓練しています。 (テモニ 4:5) しかしながら、どんな場合にも頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち、苦しみに耐え、福音伝道者として働き(*良い知らせを伝え続け)、自分の奉仕を十分に行いなさい) 憐れみ深く公平に裁く責任もあります。会衆の誰かが重大な罪を犯したとき、長老たちはその人がエホバとの絆を取り戻せるように一生懸命助けます。また、会衆の清さにも気を配っています。 (コリー 5:12, 13) 私は外部の人たちを

裁く立場にあるでしょうか。皆さんは内部の人たちを裁くのであり、 13 神が外部の人たちを裁くのではありませんか。 「皆さんの中から悪い人を除きなさい」。ガラ 6:1 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチヤンとして十分に資格がある(*聖なる力に導かれている)皆さんは、その人を優しく(*温和な精神で)正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されることがないように注意してください) そして何よりも、長老たちには **神の羊を世話する** という役割もあります。 (ペテー 5:1-3 私は長老として、またキリストの苦しみの証人、やがて明らかにされる栄光と共に受ける者として、同じ長老の皆さんに勧めます。 2 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し(*進んで群れを注意深く見守り)、不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう。 3 神の財産である(*神から委ねられた)人たちに対して威張ったりせず、群れの模範となりましょう) よく準備して聖書に基づく話をし、会衆のみんなをよく知るようにし、牧羊訪問を行います。こうしたことに加えて、王国会館の建設やメンテナンス、また大会の組織に関する仕事をサポートしている長老たちもいます。医療機関連絡委員会や患者訪問グループに関わる奉仕をしている兄弟たちもいます。長老たちは私たちのために本当に一生懸命働いてくれています。

10. 長老たちの どんな働きに感謝できますか。

10 エホバは、私たちが **牧者の手厚い世話** を受け、「もはや恐れることもおびえることもなくな[る]」と預言していました。 (エレ 23:4 そして私は、彼らをしっかり世話する牧者たちを立てる。彼らはもはや恐れることもおびえることもなくなり、誰も失われない) と、エホバは宣言する) フィンランドのヨハンナ姉妹は母親が重い病気にかかった時に、この言葉の通りだと感じました。姉妹はこう言っています。「私は自分の気持ちを伝えるのが得意ではありません。でも、ある長老が辛抱強く私の話を聞いてくれました。その長老とはまだあまりよく知り合っていなかったのですが、一緒に祈ってくれて、エホバに愛されていることを確信させてくれました。兄弟が何を言ったかはあまり覚えていませんが、とても安心したことは覚えています。エホバは本当にぴったりのタイミングで兄弟を遣わして私を助けてくれました」。あなたも会衆の長老から助けてもらったことがあるのではないでしょうか。

11. 長老たちに どのように感謝を伝えられますか。 (写真も参照。)

11 エホバは私たちに、「よく働いている」長老たちに心からの感謝を伝えてほしいと思っています。 (テサー 5:12, 13 兄弟たち、次のことをお願いします。皆さんの中で一生懸命に働き、主に仕えつつ皆さんを監督し助言を与えていたる人たちに、敬意を払ってください。 13 そして、よく働いているその人たちに愛と深い思いやりを示してください。誰とでも平和な関係でいるようにしましょう) フィンランドのヘンリエッタ姉妹はこう言います。「長老たちはみんなを喜んで助けてくれます。でも、時間や体力に余裕があるわけでも、何の問題も抱えていないわけでもありません。それで時々、長老たちにこう伝えています。『兄弟は本当にいい長老だと思います。兄弟のような長老がいてくれて、本当にうれしいです。いつもありがとうございます』」。トルコのセラ姉妹はこう言います。「長老たちも励ましを必要としています。それは頑張り続けるために

欠かせない燃料のようなものです。それで感謝を伝えるために、カードを書いたり、食事に呼んだり、一緒に奉仕に出掛けたりできます」。あなたが感謝を伝えたいと思っている長老がいますか。どんなふうに伝えられるか、ぜひ考えてみましょう。 (ヨリ一 16:18 彼らは、私の気持ちも皆さん的心情も爽やかにしてくれました。こういう人たちに感謝(*を高く評価)しましょう)



長老たちが頑張り続けるためには燃料となるものが必要です。私たちにはどんなことができますか。 (7, 11, 15 節を参照。)

会衆を力づける巡回監督

12. 1世紀に、各会衆を力づけるためにどんな兄弟たちが遣わされましたか。 (テサロニケ第一 2:7, 8)

12 キリスト・イエスが与えた「人々という贈り物」は、援助奉仕者や長老だけではありません。エルサレムにいる長老たちはイエスの指導の下、パウロやバルナバなどの兄弟たちを旅行する監督として遣わしました。 (使徒 11:22 その話がエルサレムの会衆に伝わり、バルナバがアンティオキアにまで遣わされた) それは援助奉仕者や長老たちが任命されたのと同じで、会衆を力づけるためでした。 (使徒 15:40, 41 パウロはシラスを選び、出発した。出掛ける前に、兄弟たちは、パウロがエホバの惜しみない親切を受けるようにと祈った。 41 パウロはシリアとキリキアを通り会衆を強くした) このような兄弟たちは、ほかの人を教え、励ますために快適な生活を進んで犠牲にしました。 命を危険にさらすこともあります。 (テサロニケ第一 2:7, 8 乳児を優しく世話を(*大切にする)母親のように、穏やかに皆さんに接しました。 8 私たちは優しい愛情を抱き、皆さんに神の良い知らせを伝えるだけでなく自分たち自身を与えることを思いました。 皆さんを深く愛するようになったからですを読む。)

13. 巡回監督が果たしている仕事にはどんなものがありますか。

13 巡回監督は毎週のように移動します。何百キロも離れた会衆まで行くこともあります。1週間のうちに幾つも話をし、牧羊訪問を行い、開拓者の集まりや長老の会合、野外奉仕のための集まりを司会します。巡回大会や地区大会の組織をし、話の準備もします。開拓者学校で教え、巡回区の開拓者との特別な会合も計画します。そして支部から割り当てられるほかの仕事も果たします。中には緊急なものもあります。

14. 巡回監督のどんな働きに感謝できますか。

14 巡回監督が訪問すると、会衆はどのように力づけられますか。旅行する監督の訪問について、トルコのある兄弟はこう言っています。「巡回訪問のたびに、自分も仲間を助けるためにもっと時間を使いたいと感じます。今までたくさんの巡回監督が訪問してくれましたが、近づきにくいとか忙し過ぎるという印象を持ったことはありません」。先ほどのヨハナ姉妹は、巡回監督と一緒に奉仕しましたが、訪問した家は全て留守でした。その時のことを振り返ってこう言っています。「それでもあの日のことはずっと忘れないと思います。2人の姉が引っ越してしまい、とても寂しく感じていました。兄弟は、今は遠く離れていても、将来はいくらでも時間を共に過ごすことができる、と私を温かく励ましてくれました」。このように、巡回監督たちに親しみや愛情を感じている兄弟姉妹は少なくありません。（使徒20:37-21:1 皆が多くの涙を流し、パウロを抱いて優しく口づけした。38 私の顔をもう見ることはないと言ったパウロの言葉にとりわけ胸を痛めたのである。そして船までパウロに付き添った。21 私たちは後ろ髪を引かれる思いで船に乗った後、コスに直行し、次の日にはロードスに、その後パタラに行った）

15. (ア) ヨハネ第三5-8節によると、巡回監督たちへの感謝をどのように表せますか。（写真も参照。）(イ) 責任を委ねられている兄弟たちの妻に思いやりを示すことが大切なのはどうしてですか。どのようにそうできますか。（「奥さんたちのことも忘れないでください」の囲みを参照。）

15 使徒ヨハネはガイオに、会衆を訪問してきた兄弟たちをもてなし、「兄弟たちが去る時にも、神に喜ばれるような手助けをする」ように勧めました。（ヨハネ第三5-8 愛する兄弟、あなたは忠実に兄弟たちを世話しています。それも、見知らぬ人たちです。6 彼らはあなたが示してくれた愛について会衆(*)の前で語りました。どうか、兄弟たちが去る時にも、神に喜ばれるような手助けをしてあげてください。7 彼らは神の名を知らせるために旅をしていて、世の人々からは何も受けていません。8 それで、私たちはそういう兄弟たちをもてなすべきです。そうすれば、真理のために共に働いていますを読む。）私たちも同じようにできます。巡回監督を食事に招待したり、巡回訪問中の野外奉仕に参加したりすることも良い方法です。先ほどのレスリー姉妹はどのように感謝を表しているかについてこう言っています。「巡回監督たちに必要な物が与えられますように、とエホバに祈っています。夫婦で手紙を書いて、巡回訪問が自分たちにとってどれほど助けになっているかも伝えるようにしています」。巡回監督はスーパーマンではないということを覚えておきましょう。時には、病気にかかったり心配事を抱えたりします。がっかりすることさえあります。もしかすると、あなたが優しい言葉を掛けたり、ちょっとしたプレゼントをしたりする時、巡回監督は自分の祈りが聞かれたと感じことがあるかもしれません。（格12:25 心配事があると心が沈み(*憂鬱になり)、良い言葉によって心が晴れる）

奥さんたちのことも忘れないでください

援助奉仕者や長老や巡回監督の妻たちは、兄弟たちが会衆のために働くようにいろいろな犠牲を払っています。ある姉妹はこう言っています。「奥さんたちは、自分の夫をエホバに貸しているようなものです。エホバはそうした姉妹たちのことを娘のように大切に見ていると思います」。では、進んで犠牲を払っているそうした姉妹たちにどのように感謝を表せるでしょうか。

- **言葉にして伝える。** 「兄弟が会衆のために働くようにサポートしてくれていつもありがとうございます」といったちょっととした言葉でも、奥さんたちにとって大きな力になることがあります。
- **思いやりを示す。** 自分の気掛かりなことを兄弟たちに気軽に相談することができます。でも、兄弟たちが家族を優先すべき時もあるということを覚えておきましょう。（テモ一 3:4, 5 家庭を立派に治め(*管理し), 子供をよくしつけて従わせているべきです。5 (自分の家庭を治められないのであれば, 神の会衆(*)を世話することなどできるでしょうか。) , 12 援助奉仕者は, 1人の妻の夫で, 子供を従わせ, 家庭を立派に治めているべきです) そうした兄弟たちも家族だけで, 伝道をしたり, 家族の崇拝をしたり, 気晴らしの時間を取りたりする必要があります。
- **姉妹たちのために祈る。** 兄弟たちが「人々という贈り物」であるように, 「思慮深い妻[たちも]エホバからのもの」です。 (格 19:14 家と富は父祖から相続するもので, 思慮深い妻はエホバからのものである) それで, そうした姉妹たちについてエホバに感謝しましょう。そして, 姉妹たちを力づけてくれるよう祈ってください。

私たちには「人々という贈り物」が必要

16. 兄弟たちは, 格言 3 章 27 節に基づいてどんなことを考えてみるとよいですか。

16 「人々という贈り物」として奉仕できる兄弟たちが世界中でもっと必要とされています。バプテスマを受けた兄弟の皆さん, この面であなたには「助ける力」がありますか。 (格言 3:27 あなた(*あなたの手)に助ける力があるときに, 善を行うべき相手(*受けるべき人)にそうせずにいてはならないを読む。) 援助奉仕者としての資格を満たすよう努力しているでしょうか。長老として奉仕することを目標にできますか。 *援助奉仕者や長老になるために何ができるかについて詳しくは, 「のみの塔」2024年11月号の「援助奉仕者として奉仕することを目標にできますか」と「長老として奉仕することを目標にできますか」という記事を参照。 王国福音伝道者のための学校 (SKE) に出席できるよう状況を調整できるでしょうか。SKEで学ぶなら, イエスにもっと仕事を委ねてもらえるような人になります。自分には資格がないと感じるとときは, 与えられるどんな割り当ても果たすことができるよう聖なる力を求めてエホバに祈ってください。 (ルカ 11:13 それで, あなたたちが罪深い人間でありながら, 子供に良い贈り物を与えることを心得ているのであれば, まして天の父は, ご自分に求めている人に聖なる力を与えてくださるのです。使徒 20:28 自分自身と群れ全体に注意を払ってください。神が聖なる力によって皆さんを群れの監督に任命しました。神の会衆を牧者として世話をするために, その会衆を神は自分の子の血によって買い取ったのです)

17. 「人々という贈り物」を与えてくれたことから, 王であるキリスト・イエスについてどんなことが分かりますか。

17 イエスが「人々という贈り物」である兄弟たちを与えてくれたことは, 終わりの時代に私たちのことを導いてくれている証拠です。 (マタ 28:20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです) 王であるイエスは私たちを愛

し、惜しみなく与え、気遣ってくれています。そして、私たちが必要としている世話を受けられるよう、資格を満たす兄弟たちを任命してくれました。そのことに本当に感謝できます。一生懸命働く兄弟たちにもいろいろな機会に感謝を伝えるようにしましょう。エホバに感謝することも忘れないでください。「良い贈り物、完全な贈り物は全て」エホバから来ているからです。（ヤコ 1:17 良い贈り物、完全な贈り物は全て、天から、光(*天体の光)の父から来ます。父は移り変わる影のように変化したりはしません(*父には影の移動による変化もありません)）

あなたが感謝しているのはどうしてですか

1. 援助奉仕者に

・S05 会衆で援助奉仕者として働いている兄弟たちはみんなのためにいろいろな仕事をしてくれている。会衆の会計や奉仕区域に関する仕事をしたり、文書を依頼したり、オーディオ機器やビデオ機器を操作したり、案内係をしたり、王国会館のメンテナンスを手伝ったりもしている。こうした仕事はどれも、みんなが集会を楽しみ、伝道活動をきちんと行う上で欠かせない。

2. 長老に

・S09 今でも長老たちは忙しく働いています。長老たちは伝道を熱心に行い、奉仕の区域を組織し、上手に伝道したり教えたりできるように訓練している。憐れみ深く公平に裁く責任もあり、会衆の誰かが重大な罪を犯したとき、長老たちはその人がエホバとの絆を取り戻せるように一生懸命助けり。また、会衆の清さにも気を配っている。そして何よりも、長老たちには神の羊を世話するという役割もある。よく準備して聖書に基づく話をし、会衆のみんなをよく知るようにし、牧羊訪問を行う。こうしたことに加えて、王国会館の建設やメンテナンス、また大会の組織に関する仕事をサポートしている長老たちもいる。医療機関連絡委員会や患者訪問グループに関する奉仕をしている兄弟たちも居られる。

（援助奉仕者も欠かせない様々な大切な奉仕をしているとはいえ、果たさなければならぬ責任の重さや、将来も神の羊の群れを守るという務めなども考えると、感じているストレスはとても大きなものなので、私たちはもっと気遣いを示さなければならない。）

3. 巡回監督に

・S13 毎週のように移動する。1週間のうちに幾つも話をし、牧羊訪問を行い、開拓者の集まりや長老の会合、野外奉仕のための集まりを司会する。巡回大会や地区大会の組織をし、話の準備（経験などの割り当ての兄弟たちを探す）もします。開拓者学校で教え、巡回区の開拓者との特別な会合も計画する。そして支部から割り当てられるほかの仕事も果たし、中には緊急なものもある。（私たちから見えていないことでも、沢山の仕事があり、神の地上の組織ために自己犠牲的な生活を続けてくださっていることを、私たちも良く認識して、当然感謝を示していくなければならないことを忘れないようにしたい。）